



▲花に囲まれ、はなかなぐみの演奏会

11月11日、県域で活動している「NPO法人はなかなぐみ」によるフラワーライブショーが山田花園（落合北）のパンジー畑で開かれました。花を買いに来た人も、花と音楽のコラボレーションを楽しみました。

【河野 実】



▲環境問題について考えました

11月18日、文化会館であやせ環境展が開かれました。低炭素、循環型、自然共生の統合的な推進による持続可能な社会を目指そうと環境問題に取り組んでいる各団体のブースでは、大勢の人が立ち止まり、環境について考えていました。

【近藤 秀敏】



▲東北被災地とつながり合う力

11月25日、中央公民館の2階にあるレストランで「ゆめ絵手紙の会」が生き生きとした絵手紙の展示をしていました。同会では、心のこもった絵手紙を東北の被災地に送り続けたり、市内の他施設でも毎月展示したりして、見る人の心を和ませています。

【馬場 正勝】



▲栄養満点ブロッコリー

11月下旬、春日原で最盛期に入ったブロッコリー。収穫量は県内で4番目の約190トンにもなります。キャラクターのあやっこりーが描かれた箱に入って県内各地に出荷されています。時には市の料理コンテストの題材になったこともあります。市でも力を入れてます。

【高橋 元】



▲楽しくしめ縄作り

12月9日、綾瀬伝統行事を守る会のしめ縄作りが行われました。参加者はスタッフを入れて約30人。10時から始まり、初心者には経験者のアドバイスもあり、お昼前には立派なしめ縄が出来上がりました。

【段木 武】



▲壊れたおもちゃがよみがえります

おもちゃが大好きなボランティアグループ「おもちゃの病院あやせ」のドクターが、壊れたり具合が悪くなったりしたおもちゃの「診察」と「治療」を無料で行ってます。大切にしていたおもちゃをよみがえらせることができますよ。

【福島 順一】



▲第1回小園自治会文化祭

12月8日・9日に開催された文化祭は、目を見張る素晴らしい作品ばかりでした。「小園自治会の初めての文化祭、心を込めて描きました」と添えられた紅いバラの絵手紙に、小園の「ふれあいと絆」の強さを感じました。

【秋元 謙治】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲今年最後の朝一番徳の市

12月2日、今年最後の朝一番徳の市が開催されました。冷え込みの厳しい朝でしたが、大勢の人が新鮮な野菜や商品を買って来ていました。恒例の餅つきもあり、出来たてのきな粉餅とあんこ餅が振る舞われました。



▲交流を深める餅つき大会

12月9日、蓼川神社で自治会恒例の餅つき大会と市青少年健全育成会連絡協議会による映写会がありました。昼にはつきたての餅で作ったあんこ餅やきな粉餅を、大人も子どももおいしく食べました。地域の交流と親睦を深める楽しいひとときとなったことでしょう。

【大滝 隆司】



癒やしの空間まち灯りロード

スポーツセンターの前を流れる比留川沿いの遊歩道に67基の陶芸のオブジェが設置されています。内部にある照明は日没後から約4時間点灯し、優しくぬくもりのある光の空間を作っています。